

つなぐ

八代市地域学校協働本部（生涯学習課内）

令和3年1月19日(火)発行 ☎0965-30-1110

令和2年熊本県地域の人づくり講座(八代教室)無事終了!

「あなたの力が、やっしろの子供・地域を育てます!」～「地域とともにある学校づくり」をめざして～をテーマに、5回に分けて開催してきた「地域の人づくり講座」が無事終了しました。参加者の皆様の熱心な眼差しから、地域と学校がパートナーとして連携・協働する地域学校協働活動の理解が深まり、推進に寄与したものと思います。本当にありがとうございました。前号で第3回まで紹介していただきましたので、今回は残りの講座を紹介します。

○第4回講座：11月30日(月)

テーマ：地域学校協働活動が楽しくなるコツ②!

～やっしろの宝(ひと・もの・こと)を生かす術～

熊本県立大学教授柴田祐氏を講師に、地域資源(ひと・もの・こと)を地域学校協働活動につなげていく方法やコーディネーターの関わり方について学びました。



○第5回講座：12月21日(月)

テーマ：地域のSOSを読み解く!～みんな笑顔 やっしろのまちづくり～ 八代市学校教育課前田博治指導主事、八代市教育サポートセンター西村文子支援相談員を講師に、多くの主任児童委員にも参加いただき、学校の課題(不登校問題)の解決に向け、地域の強みを生かした取組について考えました。



《参加者のアンケートより》

- ・「地域の宝、子どもたちが健全に育っていくこと」を中心にすえた地域の人づくり講座、大変参考になりました。地域づくりに関わる中で子どもたちの成長に関わっていきたいと思います。
- ・地域学校協働活動がうまく機能していくこと、子どもたちの自尊感情も学びに向かう姿も大きく変わっていくことを実感できました。
- ・子どもたちの中に不安を抱えている者が増えており、その要因や背景が多様化していることを強く感じました。また、社会的自立を促すための手立てや対応のヒントを知ることができました。
- ・学校と地域が共に子育てを支えることができるこの取組は子育てをしている親にとって心強いと思います。是非、地域に根づいてほしいと願っています。
- ・不登校の問題を学校だけでなく地域で取り組む問題として取り上げて、八代市の現状を説明していただきとてもありがたいです。子どもたちの自尊感情が高められるように学校・地域で活躍の場があるとよいと思います。

学校協力活動紹介



《八千杷小:焼き芋補助》



《文政小:消毒作業》



《千丁中:書写指導》



《郡築小:門松作り》

◇◆地域学校協働活動にはどんな効果があるの？◆◇

子どもたちへの効果

協働活動を通じて、子どもたちが信頼できる大人との関わりを持ち、ほめてもらったり、認めてもらったりすることで、自分たちや、周りのことを愛し、思いやる気持ちが育つことが期待されます。自分の住む地域への愛着心につながり、本市で大切に育てていきたい子どもたちの姿です。



自己肯定感や思いやりの醸成

コミュニケーション能力の向上

学力の向上

地域の一員としての自覚

全国的に、地域の人たちが子どもの教育に関わっている学校ほど、全国学力・学習状況調査における正答率が高いという結果も出ています。

地域への効果

学校の課題解決につながる活動を通じて、地域づくりの担い手が育成されるとともに、地域の教育力が向上します。



自らの知識や技能、学びの効果が教育の場で生かされる事で、地域住民の生きがいや自己実現の機会がつけられます。例えば、ある小学校においては、コミュニティセンターで行われている趣味講座の受講生が小学校の自主クラブ活動の講師役になって、子どもとのコミュニケーション能力の向上に役立ち、自分たちの生きがいづくりにつながっています。

さらに、災害時における避難所運営など非常事態の円滑な体制づくりにつながることが期待できます。

生きがい・やりがいがあった。

子どもたちから元気がもらえた。

学校に対する理解が深まった。

仲間ができた。

災害時におけるスムーズな対応に期待

学校・職員への効果



学校行事 各種の学校行事にボランティアの協力が得られたことで、教育活動が充実しました。地域コーディネーター（地域学校協働活動推進員）による地域団体への理解やつながりにより、学校行事を円滑に実施できました。

学校行事が円滑に実施できた。

環境整備 地域住民によるボランティアの参加が年々増え、学校図書館や花壇等の環境整備が充実しました。

学校の環境整備が充実した。

授業補助 授業補助へのボランティアの導入で、配慮が必要な児童・生徒への支援ができるようになりました。また、子どもたちと向き合える時間が増えました。

子どもたちと向き合える時間が、増えた。

職場体験 地域コーディネーター（地域学校協働活動推進員）が、中学生の職場体験学習の受入先の連絡調整役を引き受けてくれて、教員の負担軽減につながっています。

教員の負担軽減につながった。

学校経営 地域と学校が子どもの成長に向けた目標を共有することで、「社会に開かれた教育課程」の実現が図られます。

地域の皆様に学校への理解と協力が得られるようになった。

教育や子どもたちに対する責任と役割を地域と分かち合うことで、学校の教育活動に対する理解者と支援者が増えました。

※八代市「地域学校協働活動」～地域とともにある学校づくり～【マニュアル】より抜粋